

国鉄大隅線の歴史

大正4年（1915年）	鹿屋～高須
大正9年（1920年）	鹿屋～高山
大正10年（1921年）	高山～串良
大正12年（1923年）	高須～古江
昭和10年（1935年）	串良～志布志 ※国鉄古江線と改称
昭和36年（1961年）	古江～海潟
昭和47年（1972年）	海潟～国分

※志布志～国分間が開通し
「国鉄大隅線」と改称

総延長： 98.3 km

駅の数： 33

志布志、菱田、大崎、三文字、
東串良、串良、下小原、高山、
論地、吾平、永野田、川西、鹿屋、
野里、高須、荒平、古江、新城、
諏訪、柊原、浜平、垂水、海潟、
麓、辺田、二川、境、大廻、福山、
敷根、銅田、金剛寺、国分

所要時間： 2時間30分（普通）

1時間30分（快速）

昭和50年（1975年） SL廃止

昭和62年（1987年） 国鉄大隅線の廃止

鹿屋市鉄道記念館



鹿児島県鹿屋市共栄町20番2号

電話 0994-40-0078



鹿屋市鉄道記念館
ホームページQRコード

開館時間 午前9時～午後4時30分

休館日
・毎週月曜日
（祝日の場合は翌日）
・12月31日～1月1日

管理者 鹿屋市役所 総務課
電話0994-31-1127

来館時に当館のスタンプをここに押してください。

鹿屋市

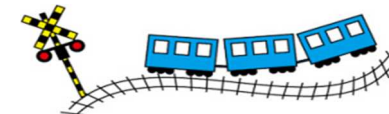
鉄道記念館



愛称

かのやえき
『鹿屋駅』

半世紀という長い間
主要交通機関として



「おおすみ」を支えてきた国鉄大隅線、
鹿屋市の鉄道の歴史が
いっぱいつまった記念館です。



鹿屋市鉄道記念館について

半世紀にわたって、大隅半島の主要交通機関として、旅客・貨物輸送等を担ってきた国鉄大隅線。その歴史を伝えるために、昭和62年(1987)3月に廃止された国鉄大隅線の鹿屋駅跡地に、昭和63年(1988)10月1日、鉄道記念館は開館しました。この記念館は、木造平家建てで床面積は137㎡です。

館内には旧大隅線で使用した運賃表や信号機、保線区関係の工具など400点余りが展示しており、昭和13年(1938)、鹿屋市に国鉄が開通した当時の古い写真をはじめとして懐かしい写真もいっぱい展示してあります。記念館の南隣には旧大隅線を走っていたディーゼルカーもどっかりと腰をすえています。

また、来館者の利便性を高めるため、屋根・外壁の塗装やキッズコーナー・映像コーナーの設置、照明の増設などのリニューアルを平成28年9月30日に行いました。



展示してあるもの

館内展示

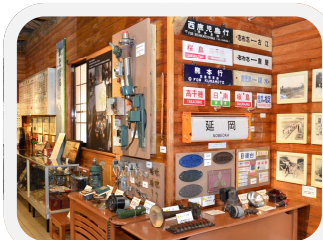
「運行を守る」

タブレット、駅員制服、
貨物計量器、時刻・運賃
表、記念切符、駅史 など



「駅を守る」

主幹制御機、制御増幅器、
行き先表示板、汽笛 など
(実際に触れて動かすことが
できるものもあります。)



「線路を守る」

タイタンパー、レール各種、
バール など
(実際に触ることができます。)



「あの日の大隅線」

映像コーナー
(大隅線の懐かしい映像を
楽しめます。)



「キッズコーナー」

プラレール
(自由に遊ぶことができます。)



屋外展示

「ディーゼルカー」

キハ20441形液体式ディーゼル気道車
昭和37年(1962)～昭和62年(1987)
長さ 20m
高さ 3m92.5cm



※ 車内は、鉄道に関する本が配置され、車内で読むことができます。

